



水性アクリルウレタンニス

水性 ユカ用ニス

用途 木のユカ、フローリング、階段、屋内の木部、木製品

●この容器は、水を加えてかきまぜられるうち、多少大きめに伸びていきます。
●中身のニスは正確な量目にはなりません。

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A02086
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.toryo.or.jp
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗装できます。	



標準塗り面積(2回塗り)	
白木 3.0~4.0㎡ タタミ1.8~2.4畳分	塗りかえ 4.0~5.5㎡ タタミ2.4~3.0畳分

乾燥時間	
夏期	30分~1時間
冬期	2~3時間

塗り重ね時間の目安	
夏期	2時間以上
冬期	6時間以上

0.7L
注意書きをよく読んでから使用して下さい。

商品名 水性ユカ用ニス 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル・ウレタン)、水

特長

- 臭いが少なく、塗りやすい水性タイプです。
- 耐久性に優れ、ワックスがけは不要です。
- 湯水のこぼれ、摩擦・衝撃に強いので、ユカを腐食・損傷・よごれから守ります。
- すべりにくいので、廊下・階段にも適しています。

用途

- 木のユカ・フローリング・階段・木製家具・その他屋内の木部・木製品。
- 絶えず水がかかったり水につかるところや、いつも湿っているところには適しません。

塗装方法

- はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・サンドペーパー(#280くらい)などを使用して充分に取り除きます。
 - 塗る面のゴミや汚れ・ワックスを取り、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とし、充分に乾かします。
 - 目の粗い木部はサンドペーパー(#180~#240)を軽くかけ、とのご目どめをします。
- ニスがついては困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
- フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などでニスを底から充分にかき混ぜて均一にします。
 - ニスの粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
- ハケは、毛のやわらかい白毛のニスバケが適しています。
 - コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面積の部分はコテバケを使うと速く、楽に塗ることが出来ます。
 - マスキングテープは、ニスが手につかなくなったらはがします。

※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法 ニスが乾かないうちに、水が湯で洗って下さい。

保管上の注意

- ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- ②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの温度が高くなるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③残ったニスは、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

取扱い上の注意

- ①表示の用途以外には使用しないで下さい。
- ②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- ③目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。
- ④塗装中・乾燥中とも換気をよくし、その後もニスの臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- ⑤ニスがついても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
- ⑦塗るときおよび塗ったニスが乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- ⑧つるつるした面は、サンドペーパー(#280くらい)で表面を荒らしてから塗って下さい。
- ⑨塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。
- ⑩白木(未塗装の木)で吸い込みが大きい場合は3~4回重ねるときれいに仕上がります。ニスを塗ることによく乾燥させ、塗り重ねる前にサンドペーパー(#400~#600)を軽くかけて下さい。
- ⑪フローリングにはUV塗装・EB塗装・セラミック塗装をしたものなど密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。
- ⑫床を塗る場合は、出口が最後になるように、順序を考えて塗って下さい。
- ⑬塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
- ⑭容器はニスを使い切ってから捨てて下さい。
- ⑮やむをえずニスを捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するが、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑯容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

危険



●臓器の障害

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製
01-1501